



平成30年度 椎葉焼畑研究会 ～世界農業遺産3周年記念～のご案内

椎葉村の焼畑は、縄文・弥生時代に始まり、先人から受け継いだ「種」を切らさないとの教えを守り、脈々と続けられてきた、**環境と調和した伝統的な農法**です。この焼畑を含む、当地域の山間地農林業や伝統文化、生物多様性は、「山間地農林業複合システム」として、**国連食糧農業機関（FAO）の「世界農業遺産」に認定**されています。

この**焼畑を将来に渡って継承**していくために、椎葉村では、平成28年度から「**椎葉焼畑研究会**」を開催しており、平成28年度は普及啓発書「**椎葉の焼畑**」、平成29年度には**椎葉の焼畑手順書「森を守り、未来へつなぐ循環型農法『焼畑』の全て**」を作成しました。今年度は、これまでの研究会の活動等も活かしながら、**焼畑の魅力を伝える「絵本」の製作**に取り組んでいます。

今年度の研究会は、世界農業遺産認定3周年記念として、**京都学園大学准教授 鈴木玲治氏**をお招きして、**日本における焼畑の現状や焼畑復興に向けた活動等**に関してご講演頂き、それを踏まえて参加者の皆様に意見交換を行います。

焼畑に関心をお持ちの村民の皆さまはもとより、村外の皆さまの多くのご参加をお待ちしております。

また、**世界農業遺産等専門家会議委員 大和田順子氏**から**農業遺産の現状と課題等**についてもご報告頂きます。

日時：2月18日（月）14:00～16:00（受付開始 13:30）

会場：椎葉村開発センター（宮崎県東臼杵郡椎葉村大字下福良1761番地1）

内容：○**報告1** 椎葉村における取組状況並びに今後の方針等

○**報告2** **世界農業遺産・日本農業遺産の現状と課題**
一般社団法人ロハス・ビジネス・アライアンス共同代表
大和田順子 氏

○**講話** 「日本の焼畑の現状と展望 -火入れてよみがえる日本の食・森・地域のつながり-」
京都学園大学准教授 **鈴木 玲治 氏**

○**意見交換** 焼畑作物の活用方法や価値に関する意見交換

お問合せ・申込み：椎葉村農林振興課 農業振興グループ 椎葉智成
TEL: 0982-67-3206 FAX: 0982-67-2825
email: shiiba-tomonari@vill.shiiba.miyazaki.jp



大和田順子氏

百貨店、シンクタンク、英国化粧品ブランド、環境コンサルティング会社等で20数年マーケティングの実務を経て2006年独立。2002年、日本にOHAS（ロハス）を紹介。全国各地で世界農業遺産、有機農業や生物多様性、再生可能エネルギーを活かした関係人口の創出や「持続可能な地域づくり」プロジェクトに参画。



鈴木玲治氏

京都学園大学バイオ環境学部・准教授、京都大学東南アジア地域研究研究所・連携准教授、博士（地域研究）。専門は森林環境学・土壌学。東南アジア及び日本の焼畑研究に従事。現在、日本の焼畑復興を目指し、自らも滋賀県余呉町で焼畑を営みながら、全国各地の焼畑をフィールドに実践型の研究活動を展開している。

◆「椎葉焼畑研究会」とは

焼畑の歴史、作業・手順の定型化、栽培する農産物、植栽する樹種、森づくり、生物多様性調査の手法などについて、リサーチチームを結成し、調査を行うとともに、専門家の助言を得ながら、焼畑の普及啓発のための冊子や手順書の作成を行っています。主催：椎葉村 共催：焼畑蕎麦苦楽部、夜狩内焼畑継承会